2021年3月期 第3四半期 ダイジェスト資料(1)

【3Q実績及び通期計画】

(連 箱)										(早	位:日万円、%)
		2020	年3月期				2021年	3月期			
		3Q実績	3Q累計実績	3Q実績	3Q果計 実績	3Q累計 前年差	3Q累計 增減率(%)	1Q時 通期見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	2Qとの 差異
連結	売 上 高	336,04	952,306	329,504	902,988	△ 49,318	△ 5.2	1,200,000	1,180,000	1,180,000	0
	加工事業本部	151,37	411,920	150,762	404,052	△ 7,868	Δ 1.9	-	-	-	-
	食肉事業本部	203,13	582,352	200,604	562,295	△ 20,057	△ 3.4	-	-	-	-
	海外事業本部	66,20	197,975	58,586	169,971	△ 28,004	Δ 14.1	-	1	-	-
	消去·調整	△ 84,67	△ 239,941	△ 80,448	△ 233,330	6,611	-	-	-	_	-
	事業 利益	17,40	39,239	21,991	43,914	4,675	11.9	37,000	42,000	48,000	6,000
	加工事業本部	7,60	12,838	9,560	15,974	3,136	24.4	12,300	13,440	16,370	2,930
	食肉事業本部	9,98	24,211	14,097	32,294	8,083	33.4	35,000	36,710	39,480	2,770
	海外事業本部	1,14	3,048	Δ 171	337	△ 2,711	△ 88.9	Δ 1,000	△ 490	△ 460	30
	消去·調整	△ 1,33	△ 858	△ 1,495	△ 4,691	△ 3,833	1	△ 9,300	△ 7,660	△ 7,370	290
	税引前利益	18,43	33,400	15,640	44,370	10,970	32.8	30,000	38,000	39,000	1,000
	法人所得税費用	4,89	9,364	6,763	16,679	7,315	78.1	9,000	13,000	14,000	1,000
	親会社の所有者に帰属	する当期利益 13,59	23,927	9,035	28,511	4,584	19.2	22,000	26,000	26,000	0

※2021年3月期より旧関連企業本部およびエキス・食肉一次加工品事業を加工事業本部へ統合したため、その事業利益を内訳表示しています。2020年3月期以前の数値は遡及修 正をしています。(当社算定による、但し未監査。)

【海外事業本部の内訳】

													(単	鱼位:百万円、%)
				2020年3月期						2021年3月期				
			3Q実績	3Q累計実績	3Q累計 売上高比(%)	3Q実績	3Q累計実績	3Q累計 売上高比	3Q累計 前年差	3Q累計 増減率(%)	1Q時 通期見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	2Qとの差異
海外	売上	高	66,207	197,975	-	58,586	169,971	-	△ 28,004	Δ 14.1	-	-	-	-
事業本部計		外部顧客に対する売上高	35,067	101,047	51.0%	29,910	84,795	49.9%	△ 16,252	Δ 16.1	-	-	-	-
		セグメント間の内部売上高	31,140	96,928	49.0%	28,676	85,176	50.1%	△ 11,752	Δ 12.1	-	=	-	-
	事業利益		1,146	3,048	-	Δ 171	337	-	△ 2,711	Δ 88.9	Δ 1,000	△ 490	△ 460	30
豪州	売上	吉	27,276	78,464	-	22,363	62,506	-	△ 15,958	Δ 20.3	-	=	-	-
(ウルグアイ含)		外部顧客に対する売上高	22,868	64,583	82.3%	19,022	52,485	84.0%	△ 12,098	Δ 18.7	-	-	-	-
		セグメント間の内部売上高	4,408	13,881	17.7%	3,341	10,021	16.0%	△ 3,860	Δ 27.8	-	=	-	-
	事業	利益	1,274	2,254	-	△ 205	△ 779	-	△ 3,033	=	Δ 1,400	△ 880	Δ 1,070	Δ 190
米州	売上	· 同	21,154	63,034	-	22,801	65,715	-	2,681	4.3	-	-	-	-
		外部顧客に対する売上高	5,700	16,426	26.1%	5,005	15,322	23.3%	Δ 1,104	Δ 6.7	-	-	-	-
		セグメント間の内部売上高	15,454	46,608	73.9%	17,796	50,393	76.7%	3,785	8.1	-	=	-	-
	事業	利益	167	612	-	520	2,380	-	1,768	288.9	400	2,280	2,410	130
アジア・	売上	自	18,566	58,712	-	14,013	43,196	-	Δ 15,516	△ 26.4	-	=	-	-
欧州		外部顧客に対する売上高	6,498	20,037	34.1%	5,883	16,988	39.3%	△ 3,049	△ 15.2	-	-	-	-
		セグメント間の内部売上高	12,068	38,675	65.9%	8,130	26,208	60.7%	Δ 12,467	Δ 32.2	-	=	-	-
	事業利益		△ 27	966	-	△ 247	△ 550	-	△ 1,516	-	250	△ 910	△ 850	60

※2019年3月期第1四半期よりIFRSを適用しております。

※当社グループは、事業活動を通じて獲得する利益をより明確に示すことを目的として、2020年3月期の連結業績予想から従来の営業利益に替えて、

事業利益(売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益、国際会計基準(IFRS)への調整及び非経常項目を調整して算出)を開示致しております。口

【設備投資額、減価償却費】

(連 結) (単位:百万円、%)										
区分	2020年3月期		2021年3月期							
	3Q累計実績	3Q累計実績	前年差	增減率(%)	通期計画					
設備投資額合計	30,410	54,034	23,624	77.7	84,700					
加工事業本部	10,149	14,496	4,347	42.8	26,700					
食肉事業本部	7,837	8,930	1,093	13.9	18,300					
海外事業本部	4,668	4,054	△ 614	△ 13.2	5,100					
その他設備	7,756	26,554	18,798	242.4	34,600					
減価償却費	24,545	25,301	756	3.1	34,400					

(中期経営計画2020の	進捗)			(単位:百万円)
区 分	2019年3月期 2020年3月期 2		2021年3月期	中期経営 計画2020
	実績	実績	計画	見込み
設備投資額合計	47,820	47,802	84,700	180,322
加工事業本部	27,097	16,995	26,700	70,792
食肉事業本部	13,767	11,735	18,300	43,802
海外事業本部	4,903	6,032	5,100	16,035
その他設備	2,053	13,040	34,600	49,693
減価償却費	22,417	33,038	34,400	89,855

【売上実績】

											(単位:百万円)	
品 種	2020年	F3月期		2021年3月期								
	3Q実績	3Q累計実績	3Q実績	3Q累計実績	3Q累計 前年差	3Q累計 增減率(%)	3Q累計数量 伸長率(%)	1Q時 通期見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	20との差異	
ハム・ソーセーシ゛	38,856	102,250	39,006	103,649	1,399	1.4	0.3	133,100	132,900	132,700	△ 200	
加工食品	61,043	175,102	59,959	168,070	△ 7,032	△ 4.0	△ 3.9	223,700	224,300	221,800	△ 2,500	
食 肉	191,794	549,756	186,019	516,166	△ 33,590	△ 6.1	△ 5.9	689,500	673,800	676,900	3,100	
牛 肉	82,172	234,861	73,579	200,675	△ 34,186	△ 14.6	Δ 12.8	267,600	261,200	257,200	△ 4,000	
豚 肉	59,671	172,316	61,319	175,834	3,518	2.0	△ 3.5	231,600	228,800	231,800	3,000	
鶏 肉	44,040	125,544	45,053	123,439	△ 2,105	Δ 1.7	△ 3.0	169,800	162,100	166,300	4,200	
その他食肉	5,911	17,035	6,068	16,218	△ 817	△ 4.8	△ 10.8	20,500	21,700	21,600	Δ 100	
水産	25,905	64,338	25,281	60,520	Δ 3,818	△ 5.9	△ 4.3	78,400	77,400	76,600	△ 800	
乳製品	8,799	25,707	8,429	24,661	Δ 1,046	△ 4.1	△ 4.2	33,200	34,100	32,300	△ 1,800	
その他	9,643	35,153	10,810	29,922	△ 5,231	△ 14.9	-	42,100	37,500	39,700	2,200	
合 計	336,040	952,306	329,504	902,988	△ 49,318	△ 5.2	_	1,200,000	1,180,000	1,180,000	0	

2021年3月期 第3四半期 ダイジェスト資料(2)

【セグメント別事業利益見込みと事業利益増減計画差要因】

[連結計]

(単位:億円)

売上高	3Q累計 実績	4Q見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	差異
加工事業本部	4,041	_	-	_	_
食肉事業本部	5,623	_	-	-	_
海外事業本部	1,700	_	-	_	_
調整消去	△ 2,333	_	_	_	_
計	9,030		11,800	11,800	0

(単位:億円)

事業利益		3Q累計 実績	4Q見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	差異
	加工事業本部	160	4	134	164	29
	内)水産・乳製品とエキス・一次加工事業品	29	△ 3	10	26	16
	食肉事業本部	323	72	367	395	28
	海外事業本部	3	Δ 8	△ 5	△ 5	0
	消去調整	△ 47	△ 27	△ 77	△ 74	3
	合計	439	41	420	480	60

[加工事業本部]

(単位:億円)

		3Q累計 実績	4Q見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	差異
事業利益		160	4	134	164	29
	既存事業	31	0	18	31	13
	(外部要因:主原料等)	Δ2	Δ 2	△ 15	△ 3	12
	(内部要因①:数量拡大)	8	1	6	8	2
増減要因	(内部要因②:改善活動)	26	1	27	27	Δ1
内訳	ベンダー、物流事業	△ 4	Δ1	△ 5	△ 5	0
P 3 D/C	水産・乳製品、エキス・一次加工品	4	0	Δ 11	5	16
	その他	0	0	0	0	Δ 0
	슴計	31	Δ 1	2	31	29

[食肉事業本部]

(単位:億円)

		3Q累計 実績	4Q見込み	2Q時 通期見込み	3Q時 通期見込み	差異
事業利益		323	72	367	395	28
	輸入食肉市況	1	△ 3	△ 12	△ 2	10
	国産食肉市況	14	2	13	17	4
増減要因	国内ファーム事業	60	2	51	61	10
内訳	フード・物流事業	6	△ 4	△ 2	1	3
F 3 H/ \	その他	Δ1	△ 2	△ 2	△ 2	1
	슴計	81	△ 5	48	76	28

[海外事業本部]

(単位:億円)

		実績	4Q見込み	通期見込み	通期見込み	差異
事業利益		3	Δ 8	△ 5	△ 5	0
	豪州	△ 28	△ 2	△ 27	△ 30	△ 3
	ウルグアイ	Δ2	7	4	4	1
増減要因	米州	18	Δ1	16	17	1
内訳	アジア・欧州	△ 15	Δ1	△ 17	△ 17	1
P 3 E/C	その他	1	1	2	2	0
	合計	△ 27	4	△ 23	△ 23	0

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

事業利益昨年差要因(3Q累計)

主力ブランド品の伸長や、販促費等の削減により昨年実績を上回った。

羊腸や燃料価格などの副資材は改善するも、豚や牛などの原料価格が上昇した。

新型コロナウイルスによる内食需要の高まりから、コンシューマ商品が伸長した。

品種構成や単価の改善に加え、販促費等の経費も削減した。

物流における新センターの稼動に伴い、一時費用が増加した。

水産やヨーグルト事業は好調も、チーズやエキスなどの業務用商品が苦戦した。

事業利益昨年差要因(3Q累計)

量販店向けの食肉販売が好調に推移したことに加え、国内の鶏肉相場が堅調に推移し昨年実績を上回った。 業務用需要の減少により、鶏肉中心に販売が減少するも、量販向けを中心に牛肉販売が回復した。 ブランド鶏肉の桜姫を中心に販売が伸長。豚肉も販売価格が上昇し好調に推移した。 国産鶏肉、豚肉も場がはまた場合に上回ったことと、またると中心に生産性が改善した。

外食需要の減少もあり数量は伸び悩むも、量販店向けを中心に国内ブランド食肉の販売が拡大した。

事業利益昨年差要因(3Q累計)

豪州産牛肉の生体価格高騰や、牛肉輸出の低迷により昨年実績を下回った。 飼養頭数の減少により、生体仕入価格が急騰した。

生体仕入価格の上昇による仕入れコストの増加と、中国向けの販売環境の悪化などにより販売価格が下落した。 加工品事業において、米国内での内食需要の増加に伴い販売数量が増加したことに加え、原料価格が安定した。 トルコの通貨安により、飼料価格が高騰した。